

読む・百人一首 053

右大将道綱母

嘆きつつ

ひとりぬる夜の

明くる間は

いかに久しき

ものとかは知る

なげきつつ

ひとりぬるよの

あくるまは

いかにひさしき

ものとかはしる

読む・百人一首 054

儀同三司母

忘れじの

ゆく末までは

かたければ

今日をかぎりの

いのちともがな

わすれじの

ゆくすゑまでは

かたければ

けふをかぎりの

いのちともがな